

総務環境委員会 分野別市民意見交換会

実施報告書

[平成29年7月]

総務環境委員会 分野別市民意見交換会 実施報告書

開催日時：平成29年7月13日（木） 午後7時30分～午後9時00分

会場：東山台公民館

出席者：東山台町内会 19名

総務環境委員会 委員長 中田清介 他8名（事務局含）

渡辺副委員長の司会により進行

- ・井波町内会長挨拶
- ・中田委員長挨拶
- ・次いで井波会長より、あらかじめ用意された申述書に基づいて東山台町内会としての意見が述べられた。その要旨は次の様な内容。

【候補地選定経緯への疑問】

当町内会が「新ごみ処理施設建設」の原案を提示されたのは2013年（平成25年）であった。その後説明会が同26年1月、同28年2月、同28年11月とあった。市は説明会の資料として市内10か所の候補地を比較評価した評価書を提出した（10か所の中には現在稼働中の三福寺を含む）。現在稼働中の施設と新たな候補地（何の設備もないサラの候補地）を一直線上に並べて評価する方法が果たして公平、かつ正当な評価なのか疑問。当初から三福寺ありきと言わざるを得ない。

【ごみ処理場の立地経緯等】

- ①ごみ処理施設は、半世紀以上にわたって三福寺地区に設置され、長年市政に寄与・協力してきた。当該地は市街地に隣接する農産物の供給地であり、古代の史跡にも恵まれた地域。
- ②昭和40年代後半から宅地化が進み、市内のごみの量も増え始めた。昭和46年頃地区の住民が住環境の異変（ごみ焼却の臭い、粉塵、カラスの異常発生）に気づき市へ苦情を訴えた。市は地区4団体に補償金を給付して住民を説得。
- ③市はこの時点でごみ処理施設の移転を検討すべきであったが、その検討を怠ってきた。
- ④昭和50年代半ばに東山台は造成された。ごみ処理施設が存在しているのを承知で家を建て住んでいる住民もいるが、市街地化が進んでその環境が脅かされている中では、行政は直ちに対処してほしい。
- ⑤近年、食の安全、住環境に対する関心は高く、市の計画どおり建設が進めば住宅の一部は半径200mの範囲内となり、ほぼ町内の全体が半径500mの範囲内となる。

【条件付き容認について】

住民が条件を付けるという事は、リスクを負うからその代償を付帯して求めるもの。その根底は反対意識の高いもの。それをひとくくりにして賛成とするのは早計で、住民の意思を無視している。

【当町の臨時総会の決議について】

- ①市の「新ごみ処理施設建設」案の提示後、市の住民意思を度外視した性急な手続きに危機感を持った一部住民は「考える会」を立ち上げ、臨時総会を請求。平成29年2月19日臨時総会を開催。

②臨時総会の結果は次のとおり。

建設賛成：26所帯

建設反対：152所帯

意見保留：5所帯 となり、当該土地での建設に反対を表決した。

平成29年2月22日付け書面で市に回答した。

③東山台町内会戸数は232。近隣3町内会の戸数を遥かに超えている。

【現在の市の動向】

①市は平成29年4月以降、上記回答書の末尾部分の付帯意見「宅地に近接しない他の地点での選定をお願いします。」について再三にわたり釈明を求めてきているが、我々の主張してきた内容は、新たな施設の建設は当該施設の丘陵以外の場所を求めている。市は「宅地」とは東山台町を意味し、住民はその宅地からある程度離れた場所であれば建設を認めるものと曲解している。

②当該丘陵の真北には上野平の農地、東には酪農牛舎と農地が存在。当該地ではどの場所であっても建設は許されない。

【総務環境委員への要望】

①我々は、将来を見据えて子供たちへの住環境を守るという強い使命感を持っている。一時的な感情論や短絡的な思考でなく、あまりにも住民の意思を軽々に考える行政への異議である。

②議員の皆様には長・中期的視野に立たれた高所からの判断をお願いしたい。

以上がその概略である。その後意見交換に入った。

中田委員長) 私たちが行政との勉強会の中で説明を受けた中では、「付帯意見の中で述べられた宅地とは東山台を意味し、住民は宅地からある程度離れた場所であれば建設を認めているとする内容で、(今回の建設を) ご理解いただけるのではないかと説明している。私たちにとっても平成25年頃から唐突にもものが始まって、最終案という感じで皆さんのところへ説明に入ったと受け止めている。そしてあとはないんだ(性能保証期間)という事で(期限を切った回答を求めている。)・・・この辺のところは今説明された内容で受け止めさせて帰らせていただいでよろしいのでしょうか。

地元Aさん)

①何もない更地の候補地と稼働中の現施設が存在するところを、同じ評価項目でやることは不公平。道路や下水の整備など全部評価項目に入っている。

②三福寺町は農産物生産地。平成13年以前のダイオキシン測定数値は、平成27年測定数値の1577倍あった。それは昭和45年ごろから全て燃やしており浄化施設がなかったから。

③ごみ焼却場があることを承知で買って入ったと言われるが、知らずに入った方もいる。

④住民重視の立場でこの焼却場計画は作られたのか。計画の段階で全く地元の思いを聞かないで市役所内部で決めてから、平成25年になって平成26年から工事にかかると言って来る。しかも31年には焼却炉は壊れるから早く決めろと。市役所の対応が悪いのに我々に責任を押し付ける。こんなこと許されますか。

⑤初めから市民を入れずに役所の内部で決めたのは、「他の地域で押し付け合いがあったので」と市役所は言う。もっと市民を大事にせよ、市民の意見を聞いてから決めろと言っている。

⑥市役所には平成26年まで十分検討期間はあった。しかし我々には平成25年に内部で決定して平成26年に説明。我々には考える時間はありませんでした。評価項目には市民目線や住民目線の項目は一つも入っていない。

⑦平成13年10月24日の三福寺町内の農地 82ピコグラムのダイオキシン（測定値）
平成27年 三福寺公民館前 0.052ピコグラムのダイオキシン
室外では1577倍の量となっている。これが途中から住み続けた東山台では22年間さらされた。市の説明では農薬にもダイオキシンは混ざっているという。

⑧昭和46年から有斐ヶ丘、下三福寺、三福寺の3町内には補償金が出ている。平成9年から金額は改定されているが、（現在）有斐ヶ丘町25万円、下三福寺町25万円、三福寺町30万円、三福寺農業改良組合25万円。東山台には今まで一銭も出していない。

⑨ダイオキシン調査は、平成23年から三福寺公民館前と有斐ヶ丘公民館前で測定。東山台と下三福寺は測定していない。

⑩平成27年の測定量

三福寺公民館前：0.052ピコグラム

下三福寺町：1.800ピコグラム 三福寺公民館前の34.6倍

東山台公民館：1.4ピコグラム 三福寺公民館前の26.9倍

⑪健康被害が心配

新ごみ焼却場標高619.5m

東山台6班の一部標高624.1m

住宅地が5mほど高い。煙突の位置からすれば真横に位置することになる。クリーンセンターのダイオキシンは市役所と同じくらいで低い（測定数値が）。煙突からの煙は東山台方向へ風下へと流れる。東山台との間に尾根があるので煙を巻き込みます。（風向きは東山台へと吹いている）

⑫臭いの問題、遮蔽シートの問題。分別とプラスチック類焼却の方針等について

- ・臭いの指摘はある。役所が来てくれた時にはわからない。
- ・第1埋め立て処分地には遮蔽シートはない。汚水は土中へしみ込んでいる。
- ・プラスチック類は埋め立てたものを掘り返してまで焼却するという、これでいいのか。

第1埋立処分地の地中4mの温度（29年3月調査）

埋め立てに関係していないところ：9.5度

第1埋立処分地の中心部：17.1度

7.6度の温度差があるという事は有機物の発酵か化学反応で熱が発生している。

市役所の言っていることが本当なのか、152の反対はこうしたデータの検証の下で評決している。もしここで実施されるんだったら、普通のこの町内の人が納得できる説明が欲しい。

渡辺副委員長）東山台さんからの意見書の中で、152の反対がある中で「住宅に近づく」という事が反対の理由とある。市から去年の町内会長さんからは300m離れているものが200mと近くなることが困るという事での「住宅」なんだと聞いている。今は住宅地は東山台全体のことを言っておるんで、東山台周辺自体が困るという事になっている。この様に変ったことはどうなんですか。

地元Aさん) 町内会長さんだけの個人的意見です。

地元Bさん) 4月の臨時総会では第1に悪臭問題が大きなポイントでした。それから二つ目が健康被害。この二つに集約していた。市の評価表では、施設から200m以内に家が10軒以内：A、50軒まで：B、50軒超：Cランクとなっており、当町内はBという位置づけ。悪臭問題は500m離れていても感じて見える人が多いんです。それよりもさらにこちらに近づいてくるのが今回の市の判断。だから何m離れたらいいかなんて議論はなかった。1時間半ほど市の部長さん含めて5人ほどの職員がお見えになってやり取りする中で、最後議決したところ156軒、83%が反対をした。新しく役員になって会長のところへ「それじゃ何m離れたら良いんですか」と市が問い合わせてきた。今の現状より近づいて良いなんてのはあり得ない。近隣施設から200mという評価点が入っている。500mに関してはマイナスの評価点を付けてほしいというのがうちの町内の感覚。はたして200mあるから安全だというのなら、そのことを説明してほしい。資源リサイクルセンターの事業説明会に参加した。「メーカーの性能保証期間が間もなく切れる。万一事故などが起きた場合だれが責任取るんだ。どこかの町内が反対しとるんだが」という様な言われ方をした。そのことをうちの町内に振ってもらっても困る。市の説明では着工してから完成するまで6年かかると資料で言っている。するとその時点でメーカーの保証期間が過ぎてからでも使わなければならないと、市は承知していることになる。それをカモフラージュして、おかしくなったときは反対している町内が負うんじゃないかと言っていただくことは腹に入らない。

中田委員長) 平成13年に基幹改良した時でも、10年か15年の性能保証期間があるというところが出発点だったと思っている。それが平成25年に内部の評価だけで皆さんのところに持って出たというのが問題。市民を巻き込んだ議論ができていない。議会は今改革を進め、見える化・見せる化の中で、情報公開を徹底して市民目線で行政をチェックしていこうとしている。行政が担わなければならない情報公開と説明責任がどうあるべきかを僕らが検証していかなければならないので、皆さんがご指摘のあるところはもう一度しっかり調査させて頂く。

地元Bさん) 3町内の条件付き賛成について、有斐ヶ丘さんは書面を読み取ると反対なんです。今の施設より離れたところに、東山台から離れたところに作るなら賛成だと。ところが今の案は東山台に近寄る案です。補償金の話ですが、20年間で500万円から600万円支払われている。そういう状況の中ではたして反対の意見が出せたのだろうか。

地元Cさん) 前の会長が出した書面はお手元に届いておりますか。ここの宅地というところは東山台を特定している訳ではない。

地元Dさん) 当日司会をしたが、渡辺議員が言われたような観点で議論していない。基本的なところは人の住むところに近すぎるということ。それが大半の人が反対した理由。クリーンセンターは各自治体にとっての喫緊の課題。今そのモデルが評価されているところは今治のクリーンセンター。そのコンセプトは「安全安心で一つの地域の世代をつなぐ今治クリーンセンター」。高山市にはその取り組み姿勢がない。市は、「これまで三福寺でやってきた。(保証期間が)もうあとちょっとしかない。だからもうちょっと我慢してくれんか、次の時は他へもっていくから」と。次の時は他へもっていくというのであったら、市長がいう様に環境にやさしい高山を目指すのであったら、全く別個なところで新しいものを作られてもいいんじゃないか。

岩垣委員) 健康被害の問題が比較的大きな問題とみている。この辺の環境を見ると風向きが東側に向くので、三福寺の状況と東山台の状況は違うと見ている。そうした事に関する地元の皆さんの感覚を教えていただきたい。

地元Aさん) 気分的に食べ物を作る気にはなりません。

岩垣委員) 御嶽の噴火の時、長野県側に被害が多かったのと同じように、三福寺全体の問題であるけど、東山台特有の問題というのは市がそここのところの認識が薄いとみている。

地元Bさん) 臨時総会の前に前年度の役員がアンケートを取って見える。臭い問題がある。牛舎が近くにあるが違う臭いだ。煙突の周りもうちの方だけ汚れている。風向き関係はあると思う。

地元Eさん) 風が吹いてくると煙がたなびくんです。ただ時間帯が朝方の5時とかそういう時間帯です。あそこの煙突から山を越えて煙とかは縁を伝って来るんです。ちょうどこのあたりへ降りてくる。煙だけならいいのだが、ダイオキシンとか有害物質も入っていると考えている。そういうところに孫子の代まで住まわせるのか、という事を考えるとこのままにしておけない。

地元Fさん) 新しいところへ作れば金はかかると思う。これだけ広大な高山市の中に民家に離れた地形であると思うんです。新ごみ処理施設はそちらで建てて頂く方向に持って行って欲しい。高山市は金のことが絡んでいるのではないかと。

中田委員長) 今日いただいた意見のなかで、すぐに現地調査が必要になるのは、地形的な事、風向き、煙突の高さと皆様がお住みになっているところの高低差、これらは現実に自分たちの目で見させていただきたい。財政面の事なんです、原課は私たちにある程度財政的制約があると説明している。健康志向という面もあり、どこに作ろうとも最新の設備で安心・安全な施設整備を求めていく。改めて委員会全員で同じ思いで聞かせていただきました。議会は行政のチェックが主で、最初から計画に入っていくべきです。これから4町内を回った後で、先ほど言われた今治なども調査し、どんな施設整備が可能なのかを図りたい。また、(日程的に)詰まっているからさあどうだという様に、皆様に押し付けるのではなく、行政がそれをしっかりと受け止めて皆さんのところへご提示できるような案がないのか等、十分調査させていただきたいと思います。

地元Gさん) 付帯条件付き賛成反対という結論は付けたくない。付帯条件というのは絶対やめていただきたい。

中田委員長) (他の町内の) 条件付き賛成という事も聞いていますので、その条件が我々がお聞きして条件として可能なのか、という事も十分聞かせていただきたい。

市民憲章を全員で朗読して閉会した。

総務環境委員会 分野別市民意見交換会 実施報告書

開催日時：平成29年7月21日（金） 午後7時25分～午後8時15分

会場：有斐ヶ丘公民館

出席者：有斐ヶ丘町内会 4名

総務環境委員会 委員長 中田清介 他8名（事務局含）

発言要旨)

町内会長あいさつ

どれだけでも早くしてほしい。

地元Aさん) 今日の発言については、15日に役員会で話し合った。今までずっとやってきているのに、なぜ市議会が来るのか。仕切り直しなのか。町内会としては、条件付で賛成している。解決してほしい条件を付けた。条件の④は、北側の進入路に熱線を入れてほしいというものだ。実現は難しいと聞いている。新焼却場は安全かと聞いたが、危険性はゼロではないとのこと。それを承知で4つの条件を付けた。焼却場の近くに住んでいることが、メリットになるようにしてほしい。市からの補助金を増やして、町内会費を安くするとか。これまで事故もない、健康被害もない。新しい施設になれば、危険性も少なくなる。しかし、危険性がゼロになるわけでもないで、条件を付けた。

地元Bさん) 何とか早くしてほしい。何とかしていかなければならないと思う。職員は大変なので、同情する。強制的なことはなかった。煤煙、ダイオキシンの解説も受けた。心配ないと理解している。県道にゴミを落としていくとの苦情がある。凍結防止については、融雪剤を融通してもらっている。

岩垣委員) 施設の近隣の住民にとっては迷惑施設だ。長年、不安も多々あることと思う。環境の整備、補助金のことなど、要望は強い。除雪も早くしてほしいことも。付帯条件についての市の対応はあったのか。

地元Bさん) 今まではない。この団地に来て5軒目だった。すでに焼却場はあった。きついことは言えない。悪臭の時には問題があった。今は臭いの問題はない。

谷村委員) 標高は東山台より10m低い。煙突からの煤煙はどうか。

地元Bさん) 煙突からの煤煙はない。悪臭はグラウンドからだった。焼却技術は年ごとに変わっている。早く新しくしてもらった方がよい。事故が起きたらどうするのか。処理ができなくなったらどうする。

地元Aさん) 事故の時は、富山へ持っていくとの説明だった。年間15億円程度とのこと。市の説明で、受け答えがしっくりこない。もっと、理論的に説明してほしい。新しい施設は耐用年数30年、埋立処分場もあと30年との説明。施設を延命した時の埋立処分場の対応の説明は不明確だった。計画的に考えていない。深く考えていないという感じ。

渡辺副委員長) 町内意向の賛否の方法は。

地元Bさん) 昨年6～7月頃話が出た。町内会で説明会を行った。意見を言う方は見えなかった。

回覧でも回した。反対意見はなかった。役員会を通して、3月ぎりぎりにまとめた。一人ひと

りに意見を聞いても出てこない。

水門委員) 市の環境担当と基盤担当に、よく連絡を取って対応することを求めている。焼却場があるから、近隣の除雪や草刈りなどをするように言っているが、市は行っていない。約束では、次の建設時には出て行くと言っているがどうか。

地元Aさん) 30年後の話なので、そこまで考えていない。そんな将来の話で、議論しない方がいい。

地元Bさん) 町内で引き継ぎは受けていなかった。説明会があるまで、もめているとは知らなかった。次の位置について、今から30年後の位置を決めておけば、うまくいくのではないか。

水門委員) 市の担当には、会長のところへこまめに覗くように言っている。市に対し、不満はないか。

地元Bさん) 3月までは積極的に来てくれた。こまめにやってもらった。条件に付けた除雪の件では、車がすれ違いできるようにしてほしい。除雪より排雪をして、すれ違いできるようにしてほしい。

中田委員長) 議会はチェックする立場。前の委員会は、行政の対応を見守っていた。市は4町内が賛成しないと進めないと言っているが、東山台は反対。そのような状況なので、来ている。市の対応では、煮え切らない答弁が多い。先を見通して、市はここまで責任を持つとの立場がない。説明にあがる段階で、市民と検討するのが遅すぎたのではないか。今日は、現地の状況を見てきた。市は住民に納得してもらうことが大事。条件付賛成の中で、第1項目に距離の話があるが。

地元Bさん) 4町内会長で話し合いをした。東山台町内会での新施設受け入れ反対の主な理由は焼却施設が住宅地に接近することでの距離だと言うことで、当町内会からの条件提示した5項目のうち、1項目の条件には東山台の意向を入れた。

中田委員長) 煙突と東山台との距離が問題。年々技術も進歩している。最良のものを造るべき。財政にも念を押した。最良のものにできるよう、予算に制約をかけないよう。予算の説明は。

地元Aさん) 80億円の計画との説明。富山のような熔融炉は無理と言われた。

岩垣委員) 要望に対する対応は市から示されたのか。

地元Bさん) 示されていない。条件に対し、市の確約があつての同意だ。

地元Aさん) 1町内から反対が出たので、前へ進めないのではないか。

総務環境委員会 分野別市民意見交換会 実施報告書

開催日時：平成29年7月23日（日） 午後7時30分～午後8時30分

会場：下三福寺集会場

出席者：下三福寺町内会 7名

総務環境委員会 委員長 中田清介 他8名（事務局含）

※下三福寺町内会の高山市への総会の報告の概要は

会員総数	148	賛成	33
		やむをえず、認容	62
		反対	15
		白票	3

町内会員からの要望

1. 体にどんな影響があるのか、調査の数字ではわからない。
2. 現在の施設を、避難所にして頂きたい。
3. 熱利用で、道路の凍結防止をして頂きたい。
4. 給食センターの跡地を、公園にして頂きたい。

との事前の資料で、意見交換を行った。

今井町内会長からこれまでの経緯を説明され、結果として条件付きで認容する事となった旨をお聞きした。

（主な意見）

- ・施設があることや関係する車両の交通量など生活の中では慣れてきてしまっている。
- ・アンケートに参加されなかった町内会員の意見をこれからも聞かなければならない。
- ・下三福寺町内会だけでなく広域で考えていかなければならない。
- ・建設に対して第三者委員会など無かった事には違和感がある。
- ・市の説明は、説明会をやるたびにニュアンスが違っている。
- ・施設建設をこの場所でやりたいのかやりたくないのか、フラフラでわからない。
- ・耐用年数、保障期間が過ぎているのに切迫感を感じない。
- ・反対されている町内会の立場を困らせないで欲しい。
- ・下三福寺町は補助金をもらっている立場では卑怯な感がある。
- ・今回の判断によって次の世代への責任がある。子ども達によかったと言って貰える様になければならない。

焼却場のことだけでなく

下流河川（黒岩谷川）の水質検査はどうなのか？川の水が濁ることがある。
などのご意見も頂いた。

市議会がこの様な意見交換会を開催したことについて、「市議会は何故今ここに意見を聞きに来たのか」「市議会として共通の方向性が出せるのか」と言った議会への意見も頂いた。

■諸手を挙げて建設に賛成ではないが、これまで以上の焼却場の高性能による環境汚染が無いことや、町内の環境整備などについて条件を付けての認容であり、住み続ける住民の意を十分理解して欲しいこと。将来の子ども達への責任を感じている上で、この判断がよかったと言える様に市として努力して欲しい。

総務環境委員会 分野別市民意見交換会 実施報告書

開催日時：平成29年7月26日（水） 午後6時30分～午後7時50分

会 場：三福寺公民館

出席者：三福寺町内会・新ゴミ処理施設建設対策委員会 14名（町内会5名、委員会9名）
総務環境委員会 委員長 中田清介 他8名（事務局含）

司会：渡辺副委員長

（森本町内会長挨拶）

高山市議会基本条例によりますと、委員会は委員会活動を中心として政策課題を設定して調査研究を進め、市民との意見交換会、議員研修会などの取り組みを通じて政策提言、政策検討会などを行うとされている。平成25年度に高山市から三福寺町内会へ新ゴミ処理施設を「現在の東側に建設させてほしい」と申し入れがあり、現在に至るまで当時の基盤環境委員会は、三福寺町内会との意見交換会などの政策検討会は、まったく行われていない。以前の基盤環境委員会を傍聴させてもらったが、個人の思いとして新ゴミ処理施設建設に関して地元との調整なども含め、基本条例に基づく取り組みがまったく感じられない。昨年10月28日、國島市長による地元説明会があり「ゴミ処理施設は迷惑施設であり長い間、三福寺町には多大なご迷惑をおかけしている」の発言があり、11月30日新ゴミ処理施設の受入れの是非について町内会臨時総会を開催し『条件付きで建設に同意する』事になった。

この条件については、9月中をめどに作成し市へ提出する予定。この条件が受け入れられない場合は、同意したことにはならないとの認識である。

國島市長は、人口減少・少子高齢化の時代のなか、第八次総合計画で『住んでよかった。これからも住み続けたい。』と思える持続的な町づくりを一緒につくって行きましょうと述べている。

本日の意見交換会を通じて、市議の皆さんは、もっと新ゴミ処理施設に関心をもっていただき、三福寺町からの条件についてもバックアップをお願いし「住んでよかった。これからも住み続けたい。」高山市（三福寺町）をめざしていただきたい。

（中田委員長挨拶）

委員会には報告される事項と協議事項の二つがある。平成27年1月頃に第1回の協議があった。市から「町内会をまわり説明してよいか」と言われ、当時の委員会としては「行政として条件に対する返答をするなら説明せよ」とした。地元4町内会の方々との意見交換の場として伺った。予算や行政との打ち合わせ前に、原点に帰り調査・研究していきたい。帰ってから、もう一度、行政側と意見交換していきたい。

（意見交換）

地元Aさん）副市長は「他へは当たっていない。三福寺町内」と言っている。大新町時代から三福寺町は癌が多い。ダイオキシンと思っている。副市長は「何とか頼む。炉の寿命が来る。メーカー保証は30年だ。早くしろと言われても、いろいろ行政にあった」と言う。行政も議会も三福寺町内会の実情を知らなさ過ぎる。市長が三福寺に行って頭を下げれば良いとの姿勢だ

った。30年に完成と言う中で、本当に危機感があるのかと言いたい。炉の耐用年数30年は短いはず。早急に結論を出して欲しい。三福寺町は一世紀以上、ごみ処理に携わっており、他の3町内会とは違う。市の迷惑施設を預かっている手前、火葬場以上の迷惑施設と思う。

中田委員長) 25年から始まっている事は承知している。21日には施設の敷地や東山台の尾根・標高等も計測してきた。市から提案された内容は、それで良いのかどうかも含めて検討して行く。

地元Bさん) 議会の進め方はどうなのか教えて欲しい。場所を視察したと言うが、この地を認めた事なのか。三つの町内会は、条件付での苦渋の選択だ。市の提案を議会としてどう進めるのか。地元の意見をどう生かすのか方針を教えて欲しい。

中田委員長) 議会は「提案されたものが住民の意見を満たしているのか」等の検証を行う機関だ。25年からあった「意見の返答を求められた」として引き継いだが3年経っても今の状況だ。この確認に対しての意見を聞かせて欲しい。他市の状況や埋め立て処置等、市民の意見を聞いて再検証して行きたい。行政は「地元の同意がなければ進められない」としている。

地元Aさん) 議会では、30年後とか、今の所をとか決めたのか。

中田委員長) 全て決めてはいない。

地元Bさん) 三福寺の条件を認めて欲しい。要望を飲んで欲しい。

中田委員長) 条件の内容を議会に示して欲しい。行政は4町内会合意でなければ駄目と言っている。

対策委員) 現在の炉が一番心配。現状を知ってほしい。町内会では反対もあるが条件付でOKとした。

地元Aさん) 議会を傍聴したときも、議会は関心が無かったと思う。地元や市全体を考えて議会としても認識して欲しい。前の委員会と今回の委員会のズレが大きい。ぜひ、現状を認識して欲しい。

中田委員長) 議会として提案権はある程度あるが、行政に対して市民の意見を伝えながら進めて行く方向だ。

対策委員) 毎年、町内要望を上げているが町内の意見は聞いてくれない。ごみ処理施設はここが一番と言う。ならば、市の意見を聞かないと言うことになるのでないのか。市もここで決定したなら、決定する前に「町内の意見」を聞かず、議会として提言が無かったのか。他人事の様に議会はいると思う。議会も自分の身になり考えて欲しい。条件付OKとしているが自分の身になって考えて欲しい。

中田委員長) 全くその通り。決定は行政内部の決めである。議決はしていない。なぜ要望が出ているのにあそこにしたのか。改めてもらえるのなら議会はどんどん動きたい。議会から行政に問いかけていくし検証して行く。

地元Aさん) 炉を新しくして欲しい。30年後の話で「30年後は生きておらんで」と笑い話にして欲しくない。

中田委員長) 三会場でも「良いものをつくれ。予算に縛られるな。」と言われたが、予算の範囲内でおさめるというものではない。財務部長と話し合い「予算措置はする。健康不安、環境被害の無い設備となるよう努力する」との約束はしている。

地元Bさん) 火葬場は検討委員会をつくり、候補地を公募すると言うがおかしいと思う。

牛丸委員) 検討委員会を傍聴してきたが、40数名で検討委員会をつくり「はじめに施設をどうするか」からスタートしている。その上で基本構想を作り、候補地を公募としている。今後はこのような住民と共に進めて行くやり方になるのではないか。

対策委員) 30年で期限が切れると言うし、建設には5年位はかかると言う。4町内会のうち3町内会は条件付でOKという。市が今後どう進めるかは、条件をどう満たすかだ。条件をクリアすれば良いので新しい施設を造るべきだ。議会として後押し願いたい。4町内会合意が出来ねばどうするのか。

中田委員長) その点を議会としても行政に向かい問いかけていく。

町内会長・対策委員長・対策委員) 「30年後を」として進めるなら、委員会等を早く立ち上げ進めるべき。10年位の内から次の地を進めて欲しい。条件も9月末までに提言していくが延びるかも知れない。施設をより良い施設にしてもらい「30年後は、俺たちの所にきて欲しい」等となるように造って欲しい。